

「自立活動の学習内容紹介～担任による自立活動の時間における指導の例～」

今回は、各学部の担任による時間における指導の実践例を紹介します。

1. 小学部の指導

小学部の時間における指導は、週3～5時間、各クラス単位で取り組んでいます。

写真の場面は、目と手を協応させたり、手指の巧緻性を高めたりすることを目標に取り組んでいます。また、見本を見て数を数え、配置や色に気を付けながら、全体をイメージして作ることも目標にしています。他にもクラスの皆で口の体操をしたり伝言ゲームをしたりして楽しみながら活動しています。



2. 中学部の指導

中学部の時間における指導は、週5日、1限目の後半の時間で取り組んでいます。全学年の生徒を指導内容ごとに4つのパートに分けています。

「心理パート」では、『身体を動かして心を安定させよう』を目標に日々、ダンスやストレッチに取り組んでいます。音楽に合わせてジャンプをしたり、スクワットをしたりして激しく動いた後に、ヨガストレッチでゆっくり身体を動かしています。最後には、リラックスタイムとして、エアートランポリンやブランコでゆっくりし、心も身体も整えて各授業に取り組んでいます。



3. 高等部の指導

高等部健康キャリアコースの肢体不自由の生徒は、週に4時間、担任と自立活動支援担当とが連携しながら、個々に必要な身体への働きかけ（ストレッチ、筋トレ、姿勢保持、歩行練習等）を行っています。

医療機関とも連携し、将来の姿を想像しながら今ある機能を維持したり、高めていったりすることを目的に取り組んでいます。

